

2018年度 アナリスト・機関投資家向け決算説明会（質疑応答要旨）

1. 連結業績関連・その他

Q) 3Q 決算時に説明のあった「一過性のコストアップ」減益要因の△32 億は 19 年度にどのように改善するのか？

A) 一過性コストアップ要因の設備故障等は既にリカバリー出来ており、18→19 年損益分析の販売関係差、コストダウン、UATH 業績改善などの項目に要因毎に織り込んでいる。

Q) 18→19 年度の損益分析で増益要因であるコストダウン+15 億はどうやってつくるのか？

A) 数量増等による操業度の改善。

Q) 厚板と IT 材の 19 年度の台数計画の考え方と今後のトレンドをどうみているのか？

A) 19 年後半での回復を期待も、19 年は厳しい状況が継続する前提で数量計画を策定した。

Q) 生産性に課題のある自動車材比率が増えていくが、それにより国内の収益性は本当に上がる？

A) 歩留りは改善している。福井に自動車材専用の生産設備を新設中で、福井・名古屋 2 拠点体制にすることで更なる生産性向上に繋げていく。

Q) 足元、国内の需要が減少しており、国内生産拠点の更なる集約が必要と考えるがどうか？

A) 自動車材など伸びる分野と縮小する分野を見極め、柔軟に対応出来る体制に変えていく。

Q) 足元業績が悪化しているが、配当・BS の考え方について知りたい。

A) 配当は安定的・継続的の方針を重視し、60 円を継続。

BS も投資のピークが 19 年、21 年からは投資の刈り取りフェーズに入るので改善していく。

(中計計画通り)

2. 主要海外子会社の状況

Q) UATH の 19 年、20 年の損益見通しと最新状況について知りたい。

A) 生産、販売、設備工事、全て順調。営業利益は 19 年 4Q での黒字化、20 年で経常損益黒字化を目指す。需要面も堅調で、中国材流入リスクは限定的。

Q) TAA の 19 年、20 年の損益見通しと最新状況は？

A) 米国の缶材マーケットは市場が拡大も、競合は自動車材への資源シフトで対応が出来ず、

当社には追い風。リサイクルスクラップ設備を活用したコストダウンも進んでいる。

償却と金利を除けば非常に好調。今後は利益が更に拡大する。

Q) UATH の数量計画が中計策定時より 19 年から更に増える計画に変更されているが、

増える理由、増える品種、増産が損益に与えるインパクトについて教えてほしい。

A) 需要が堅調でお客様からの引き合いが多いので、生産数量を前倒しで増やす。

数量増となる品種は主に缶材で、損益も販売量が増えることで好転する。

Q) 北米での今後の自動車材の展開について。UWH を伸ばすのか？ TAA はどう活用するのか？

A) 自動車の部品事業は UWH を中心に「CASE」を意識しながら展開していく。

自動車用パネル事業の北米展開については検討中。TAA は缶材だけでも収益アップは可能。

3. 中期経営計画関連

Q) 19 年度の設備投資の金額は中計 19 年予想より増加する計画だが、

中計時の設備投資計画から変更があるのか？

A) 中計予想 3 年総投資額 1,440 億円からむしろ、設備投資の総額は落とす方向で

調整している。19 年も絞れる設備投資は絞っていく。

18 年からの期ズレ分が公表した 19 年の設備投資に含まれている。

Q) 「事業戦略の再検討」を進めるとのことだが、現時点で何をどう変えていきたいのか？

A) 利益率の高い IT・液晶半導体製造装置向け厚板の販売減速を、

UATH・TAA の垂直立上げ効果、自動車部品事業でのビジネス拡大等で補うことで、

プロダクトミックスが変わっても利益が出せる会社にしていきたい。

以上

◆将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは、今後さまざまな要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります。確約や保証を与えるものではないことをご承知おきください。また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

◆著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社 UACJ に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。